

平成 28 年 9 月 6 日

保健だより

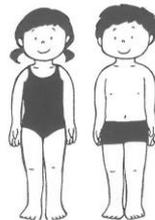


いわき養護学校くぼた校 保健室

9 月 安全な生活をこころがけよう

安全な生活を心がけるには、自分も大切、相手も大切する心が大切です。私たちの命の始まりから今に至るまで、いろいろな人に支えてもらって大きくなりました。たくさんの関わりがあったことと思います。熱が出たらずっと看病してもらったり、けがをしたら、手当をもらったりと。1 つの命は幾多の手が添えられています。命を大切にしていきたいと思います。

- 1 プライベートゾーンについて（水着を着けた部分）
見せない 見ない
さわらせない さわらない



- 2 一人で行動するときは
暗い夜道の一人歩きをしない。
寂しい場所は避ける。
お家の人に必ず行き先、帰る時間の報告をする。



<注意するところ>

行き止まり、人通りの少ない道 公衆トイレ 暗い夜道



自分手帳の活用を



夏休み中に「自分手帳」の整理をお願いし、始業式に持参して頂くようお願いしました。2 年生の Y くんは、また手作りお弁当に挑戦してくれました。写真やコメントがのったレポートも持参してくれました。自分手帳の活用を積極的にできていて大変良いです。保健室前に掲示してあります。ご覧ください。

救急法講習会を実施



毎年この時期に救急法講習会を実施しています。生徒たちが「いつ」「どこで」「どんな状況」にあっても落ち着いて行動できるようにすることが肝心です。気を引き締めながら集中して行いました。5 年に 1 回救急に関して更新があるようです。胸部圧迫は約 5 cm の深さまで胸部を押すことが大事と言うことでした。専用の定規を使って計測しながら実施しました。